



保育所だより



令和4年2月号
中部保育所

TEL 63-3221 090-5693-1233

暦の上では大寒を過ぎ立春を迎えますが、まだまだ寒い日が続いていますね。子ども達はひんやりした空気を肌で感じたり白い息を吐いたりと体で季節を感じながら過ごしています。

1月の24～28日まで、きりん・ぱんだ・うさぎ組がすもう大会を行いました。化粧まわしをつけて土俵入りし、みんなの応援のもと白熱した取り組みを見せてくれました。中には悔しくて涙が出る場面もありましたが、次の対戦までに気持ちを切り替えて相手に向かっていく姿に、心の成長を感じました。また、土俵の周りでは小さいクラスの子どもたちも応援し、にぎやかな雰囲気ですもうを楽しむことができましたよ。

今年度も2か月ほどとなりました。ご家庭と手を取り合い、お子さん一人一人の育ちをしっかりと支えながら、就学や進級を迎えられるように保育を行っていきたいと思います。

2月の行事予定

- 1日(火) あいさつ運動
- 3日(木) 豆まき会
- 4日(金) 避難訓練(火災)
- 7日(月)～10日(木) 身体測定週
- 8日(火) 弁当の日
- 11日(金) 建国記念の日【祝日：休所】
- 15日(火) クッキング：ぎょうざ作り(3歳児以上)
- 18日(金) 誕生会
- 21日(月) 集金日 巡回相談日(山田心理相談員来所)
- 22日(火) 保育所開放日(出雲芸術アカデミー来所)
- 23日(水) 天皇誕生日【祝日：休所】
- 24日(木)～25日(金) なわとび大会(ぱんだ・きりん組)
- 25日(金) 布団持ち帰り日



3月の主な予定

- 2日(水) ◆修了記念写真(きりん組)
 - 4日(金) ◆きりん組親子お別れ会
 - 13日(日) ◆清掃奉仕(9:00～10:30)・第3回役員会
 - 25日(金) ◆令和3年度修了式
 - 30日(水)・31日(木) ◆希望保育
- ◆のついている行事につきましては、後日お便りで詳しくお知らせします。



*集金について(21日)

年度末のため、今月は3月分の保護者会費を合わせて集金させていただきますのでよろしくお願いします。

職員出張関係 ▽は午前・△は午後の研修

17日△平田中学校区保幼小中連携推進委員会～黒目



砂場に新しい砂が入りました。ぱんだ組の子どもたちが、柵の外に出た砂を一生懸命砂場内に入れたり、高くなっていた砂を平らに広げたりしてくれましたよ。頼もしいぱんだ組さんです！

保育目標～〇冬ならではの遊びを楽しもう。

冷たい風や雪、氷に触れながら、この時期だからこそできる遊びを機会を逃さずに楽しみます。また、先月から興味を持って遊んでいるこま回しやかるた、羽根つき、けん玉などの伝承遊びを年齢に合わせて体験できるように取り入れていきます。

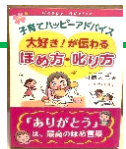
生活目標～〇身の回りのことを丁寧にしよう。

うさぎ・ぱんだ・きりん組は、手洗い・食事・排泄・着替えなどの基本的な生活習慣が身についているかを確認したり、持ち物の整理整頓を丁寧にしようとしたりする気持ちを大切にしながら、認めたり励ましたりして自信につなげていきます。

ひよこ・ことり・りす組は、手洗いや着脱など、簡単な身の回りのことを保育士と一緒にやり、「自分でしたい」という気持ちを大切にしながら見守ったり手を添えたりしていきます。

☆子育てのヒント☆

「この行いは、本当に叱るべきこと？」 ～年齢に応じた叱り方～



お子さんと日々一緒に過ごす中で、どのように伝えたら分かってくれるのか、どう接したらよいのか悩んでしまうことはありませんか？この本には、年齢に応じた具体的な方法や伝え方が掲載されています。ぜひ、参考にしてみてください。一部紹介します。

【1歳まで】〇危ない目にあわないような環境作りが大切です。

×1歳までの子は、ルールを理解することはできません。

自分の気持ちはわかっていても、他人の気持ちを知ることはできません。状況を把握することもできません。ですから、この時期の子どもにルールを作って守らせようとしても、無駄な話です。それより、子どもが危ない目にあわないよう大人が環境を整えることが中心になります。

【1～2歳】〇なぜいけないかを、言葉で説明する。

×まだ言うことを聞けない、1・2歳の子を叱りつける。

親の言葉や指示をだいたい理解できるようになります。ところが、それに従うことはできません。1歳半を過ぎると何かにつけて、「イヤ」「やだ」というようになります。これは自我が芽生えてきたことで、子どもの心が成長してきたあかしです。この時期に大切なのは、叱るというより、状況を言葉で説明することです。「これアチチだよ」「危ないからナイナイしようね」などです。

【2～3歳】〇先の見通しをわかるように伝える。

×2歳児同士のケンカを一方向的に叱る。

相手の言っていることを理解できるだけではなく、自分の意思をかなり上手に伝えられるようになります。親の言うとおりにしたり、指示にきちんと従ったりすることは難しいですが、先の見通しを持たせると、少しは我慢できるようになります。ただ、他の子と上手に関わることはできず、わがままを言ったり、人の物を取ったりします。

決められたルールに従えるようになるのは、もう少し先のことです。ダメなことはダメと伝え、「順番だから次にしようね」など、見通しを持たせて話をすることが大切です。

【3歳～】〇何が正しい行動で、何が悪い行動なのか伝える。

×親にとっては困ったこと(親の都合)で一方向的に怒る。

ようやく少しずつルールを守れるようになります。そこで親は、「何が正しい行動で、何が悪い行動なのか」「どうしていけないのか」を一緒に考えて、繰り返し教えることが大切になります。

「子育てハッピーアドバイス 大好き！が伝わる・ほめ方 叱り方」
明橋 大二著～1万年堂出版・一部抜粋

いつも叱ってばかりだと、子どもは何が良いことで、何が悪いことなのかわからなくなります。上記にも書いてあるよう、「ダメなことはダメ」と伝え、よい行いに対しては褒めたり認めたりすることが必要なのではないのでしょうか。

☆あそびの様子☆

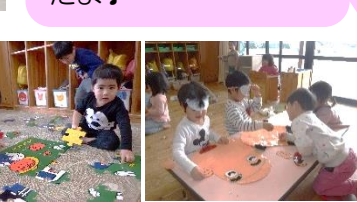
かるた、すごろく、福笑い、羽根つきなどの伝承遊びを楽しみましたよ♪



ひよこ組



ことり組



うさぎ組



ぱんだ組

きりん・ぱんだ・うさぎ組 1/24 すもう大会(土俵入り)

りす組

うさぎ組

ぱんだ組

きりん組